

市長が行く

自治会への加入依頼

No.59

茂原市長 田中豊彦



最近、自治会への加入者が減少して困っているという声をよく耳にします。茂原市でも平成5年には83・8%あった加入率が、平成25年には63・6%まで落ち込んでしまいました。

自治会に加入しない理由は様々ですが、主に次のようなことが考えられます。「近所づきあいがわずらわしい」、「役員になることや行事に参加するのが面倒」、「時間がな

い」、「参加しなくても日常生活には困らない」、「会費を払いたくない」等々。

市では、自治会を市政運営のための大切な単位としてとらえており、市からの重要な連絡事項は自治会を通して行われております。私は、まちづくりにおいても、防災の観点からしても自治会は市政運営の要となるものと考えます。

高齢者社会を迎え、この茂原市でもいくつかの自治会で

独居高齢者の見守り事業をはじめました。

足の不自由な方や、買い物に困っている方の移動のお手伝い、日常生活での作業（電球の取り換えや庭の草刈り等）を安価で請け負ってお手伝いすることなどが少しずつ展開されています。また、そのことによつて、年々増えている孤独死を防ぐことにもつながっています。

これは自治会の大きな力です。また、大規模災害時には、自治会単位で行動をとるようをお願いしていることもあり、自治会に加入していないと連絡がとれないことも考えられ、最終的な人員確認ができない等の問題も発生してきます。

災害に關していうならば、今、市では自治会単位での自主防災組織の立ち上げを進めております。自主防災組織がなぜ必要かという点、大規模な災害が発生した場合、道路

の寸断、建物の倒壊、断水、停電、火災など同時多発的に起こることが想定され、防災関係機関だけでは十分な対応がとれないことが予測されるからです。

いざというときには、自分たちのまちは自分たちで守るという自衛意識と連帯感が必要とされています。これは自治会単位でお願いしていることですから、どれだけ自治会が大切かということがここからも理解していただけたと思います。

いざれにしても、市民の皆さんが安全で安心して暮らせるように、共助の精神のもと、自治会に加入していただくことをお願いしたいと思います。

昔から「遠くの親戚より近くの他人」と言われています。どうか皆さん、お互いに協力して住みよい茂原市を作っていきましょ。